

大きな憧れをいだく大草っ子



大草小学校だより 「ココロオドル」

第5号 平成30年6月13日(水) 校長 有谷孝彦

学校づくりの合言葉 「常 笑 大 草！」

自信 (Confidence) 挑戦 (Challenge) 思いやり (Consideration)



地域に生きること(^ _ ^)

私が小学生の頃は、子供会活動が盛んで、子供会会長のお宅に集まっては子ども会行事について話合ったり、ラジオ体操コンクールの練習をしたりと、当たり前で地域の中で自治することを学んでいました。時には、轟の滝へバス旅行をしたり、大きな木陰に集まって冷やしそうめんやスイカを食べたりすることもあり



ました。半世紀を生きても記憶に残っており、今の生活のプラスになっていることは間違いありません。大草塾では、地域挙って田植えを行いました。まだ、支えられながらの活動ですが、地域に生きる喜びを感じるには、余りあるものでした。「活動あって、学びなし」とならぬよう、子どもたちの主体性や自治意識を育てることも目的に添えることができると欲張りな私は考えます。



しほめ

金子みすゞ

つういと燕がとんだので、
つられてみたよ、夕空を。
そしてお空にみつけたよ、
くちべにほどの、夕やけを。
そしてそれから思ったよ、
町へつばめが来たことを。

今年も「どろリンピック」

今年も恒例の「どろリンピック」(大草塾)が開催されました。毎年、田植えの後に空いた田んぼをお借りして行っているものです。名前のとおり、田んぼの中で「リレー」「泥スキー」「尻相撲」「綱引き」などの競技を行います。普段であれば、こっぴどく叱られるところですが、どろんこになるまで、とことん遊ぶこ



とができる特別な日ですから、こんなにうれしいことはありません。加えて、保護者や地域の大人も一緒に泥まみれになるのですから、楽しくないわけがありません。多少のトラブルは想定のうちで、みんな思いっきりはしゃぎました。

昨今、凶悪犯罪が頻発しております。現実の世界と架空の世界の区別をつけることができずに残忍な犯行に及んでいるのではないかと考えます。幼少期に、聞きするだけではわからないこと(心身の痛みを感じたり、どの程度までなら許されることなのかを理解したり、友だち同士のトラブルを自分たちで解決したりすること等)を実体験していないことが原因ではないかと思えます。小さな失敗やトラブルは、正しい判断や人とのかかわり方を学ぶ絶好のチャンスであると考えます。日々変化する社会に対応するには、学校教育だけでは及ばないことは明白です。大草塾は、学んだことを生かす場であり、足らない部分に気付く場でもあります。大草地域全体で大切にしていきたいものです。

最後になりましたが、自らの時間を割いて、田植えやどろリンピックの田んぼの準備をしてくださった富永様、橋本様には大変感謝しております。子どもたちには、地域に守り育てられていることをしっかりと指導します。



☆6月の主な行事予定(再掲) 3のつく日は「えがおの日」

- 18日(月) 教育週間(～24日)
- 19日(火) 民生委員学校訪問
- 20日(水) プール開き
- 21日(木) 交通安全教室
- 23日(土) 土曜授業 大草塾(そうめん流し等)
- 26日(火) 給食費集金日(～28日)



学校の様子等については、大草小学校HPにも掲載しておりますので御覧ください。